

【参考資料】

1．貿易統計実績

	2018年6月～ 2018年8月平均	2018年5月～ 2018年7月平均	2012年10月～12月平均 (2013年9月料金改定時)
原油価格(円/kl) (ドル/b)	53,435 76.8	51,505 74.5	57,651 114.4
LNG価格(円/t)	57,172	55,701	64,566
石炭価格(円/t)	13,133	12,769	9,800
為替レート(円/ドル)	111	110	80

2．燃料費調整制度とは

「燃料費調整制度」は、為替レートなどの経済情勢の変化に伴う輸入火力燃料（原油、LNG、石炭）の価格変動を料金に反映させるため、燃料費の変動に応じて一定の基準のもと自動的に電気料金を調整するものであります。

具体的には、貿易統計による燃料価格の3カ月平均値（平均燃料価格）に基づき、2カ月後の燃料費調整単価を算定し、1カ月ごと（毎月）の電気料金に適用します。

なお、低圧供給においては、上限価格（基準燃料価格の150%）を上回る変動分については燃料費調整を行いません。

3．燃料費調整制度の概要

平均燃料価格の算定対象期間と料金反映タイミング

平均燃料価格の 算定対象期間	適用する月分料金
1月～3月	6月分
2月～4月	7月分
3月～5月	8月分
4月～6月	9月分
5月～7月	10月分
6月～8月	11月分
7月～9月	12月分
8月～10月	1月分
9月～11月	2月分
10月～12月	3月分
11月～1月	4月分
12月～2月	5月分

プラス調整とマイナス調整のイメージ



1 単位は、1銭とし、その端数は小数点以下第一位で四捨五入いたします。

2 平均燃料価格の実績が1キロリットルあたり1,000円変動した場合の値で、2013年9月料金改定時に設定したものです。(消費税等相当額を含みます)

・低圧で従量制供給する場合：1キロワット時につき21銭7厘